



激流との闘い

— 吉野川を下る —

吉野川は四国第一の長流であり、かつ激流でもある。その長さ 194 Km 平均落差 200 分の 1。

巨岩奇岩の連続であり、その間にある時は激流となつて一瞬にして駆け抜け、ある時は威風堂々とゆるやかに流れるこの吉野川は我々によき試練を与えてくれた。

上・ボートに波が当たり、飛沫となつて散る。この川の最大の特徴である大波との闘いだ。

下・波をかぶり、その反動で一人がボートから落ちた。とつさに仲間が彼の手をつかむ。

